

<(2)-5>

主体者／ 連携・協力先	静岡県、静岡県道路公社 / 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会、国土交通省沼津河川国道事務所、株式会社ナビタイムジャパン
取り組み名称	交通ビッグデータを活用した伊豆地域の渋滞対策の取り組み
取り組みポイント	<input type="checkbox"/> (1) 地域交通の取り組み <input checked="" type="checkbox"/> (2) 情報利活用の取り組み <input type="checkbox"/> (3) 生活基盤への取り組み
取り組み課題	情報（交通ビッグデータ）利活用の取り組み

<取り組みの概要>

静岡県は、静岡県道路公社など関係機関と連携し、毎年2～3月に開催される「河津桜まつり」の時期に、国道135号に並行する「伊豆スカイライン」へ交通を分散させ、国道135号と周辺道路の渋滞緩和を図る取り組みを実施している。その取り組みのうち、以下の①②に示す情報発信、③に示す渋滞対策の効果測定に交通ビッグデータを活用している。

- ① 走行時間情報：静岡県道路公社のキャンペーンチラシに、民間プローブデータ解析に基づく走行時間情報等を掲載 (H27,H28)
- ② 渋滞迂回ルート検索：ナビタイムジャパン経路検索サービスと連動し、渋滞迂回ルートとして伊豆スカイラインを告知 (H28)
- ③ 渋滞緩和の効果測定：民間プローブデータを解析し、国道135号の主要渋滞箇所において渋滞の緩和（旅行時間の短縮）を確認 (H27,H28※) ※現在民間プローブデータ解析作業実施中

伊豆スカイラインを利用する理由についてアンケート調査を実施したところ、H27,H28ともに「渋滞回避」が1位であった。この結果から、渋滞回避を目的とした情報発信による交通分散と渋滞緩和が期待できることが分かった。静岡県としては、引き続き交通ビッグデータを活用し、道路利用者にわかりやすく有益な情報を発信していきたいと考えている。

<取り組みポイントについての具体的説明>

① 走行時間情報：

静岡県道路公社キャンペーンチラシに掲載

前年同時期・同条件下の民間プローブデータ解析に基づく主要ルートの走行時間情報をチラシに掲載し、伊豆スカイライン利用の優位性（時間短縮効果）を発信

→約30分の時間短縮効果をPR



② 渋滞迂回ルート検索：

ナビタイムジャパン経路検索サービスと連動

- 1) 前年土休日のナビタイムのプローブデータを元にした季節渋滞予測と料金割引を考慮した渋滞迂回ルート検索を提供
- 2) 経路に連動したバナーにより伊豆SLの存在と割引を告知
- 3) Webアンケートに連動し利用意思を測定
- 4) 経路検索データを分析し、表示経路の変化や、効果の高い発着等を測定

→検索結果上の伊豆SLの表示数が2.3倍に増加



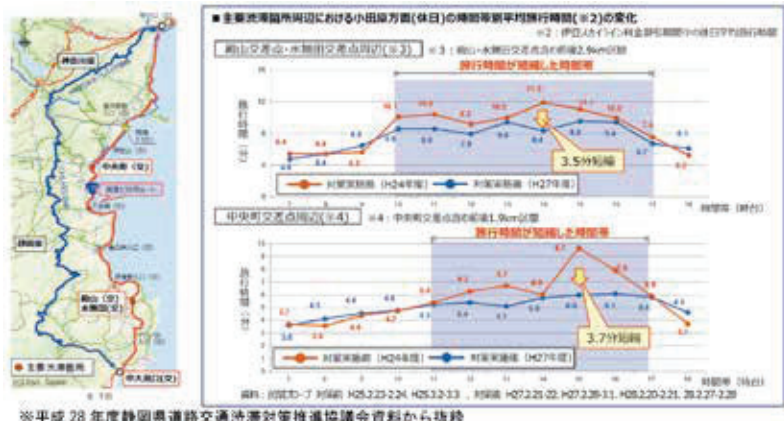
③ 渋滞緩和の効果測定

国道135号の主要渋滞箇所周辺において、渋滞の緩和（旅行時間の短縮）を民間プローブデータの解析により確認

→国道135号の渋滞が緩和

→実施した渋滞対策の効果を確認

→解析結果は翌年の情報発信に活用



※平成28年度静岡県道路交通渋滞対策推進協議会資料から抜粋